


## 農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	動物科学課程・教授・佐野 宏明	
紹介する研究シーズ名	未利用資源を活かした地産地消の飼料開発	
キーワード	ニンニク茎葉、アシタバ、ヘラオオバコなど	

シーズの「売り」は！！

### 北東北地域の未利用資源を活かした地産地消の飼料開発

- ① ニンニクの球根部以外は廃棄されています。アシタバも先端の可食部以外は利用されていません。また、ヘラオオバコは道端などでよく見掛ける野草です。
- ② ニンニクにはアリイン、アシタバにはカルコン類、ヘラオオバコにはアクテオシド、アウクビンなどといった機能性成分が含まれています。
- ③ ニンニク茎葉、アシタバ、ヘラオオバコの栄養成分や機能性成分の測定や給与試験を通してさまざまなデータを得ることにより地産地消の飼料開発を目指します。これにより、家畜の健康増進、高品質な畜産物の生産が期待されます。

青森県田子町の「ニンニク茎葉」



岩手県北上市の「アシタバ」



#### 【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

未利用資源を素材としたウシ、ヒツジ、ヤギ用飼料の開発

関連特許・関連資料等